

関門地域（下関市・北九州市）の未来をつなぐ

下関北九州道路

関門地域の現状

下関北九州道路について

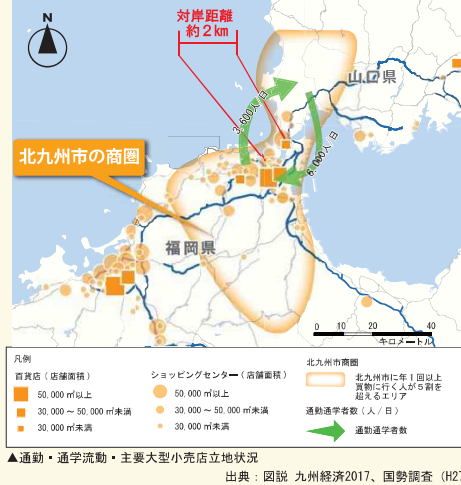
- 本州と九州の結節点である下関市と北九州市は、人やモノが行き交う要衝として、また大陸との玄関口として、一体的に発展してきました。
- こうした地域が持つポテンシャルを発揮させ、さらなる発展を図るためには、当地域における渋滞や通行止めといった現状の道路課題を解消することが必要です。
- 下関北九州道路は、両市の中心部を結ぶ新たな道路であり、こうした既存道路ネットワークの課題を解消するとともに、関門橋・関門トンネルの代替機能を確保し、さらには循環型ネットワークを形成することにより、下関・北九州地域の発展に大きく寄与するものです。

**本州-九州の大動脈である関門橋・関門トンネルは
関門海峡を越えて地域の暮らしや産業、観光を支えています。**

海峡を超えた交流・連携

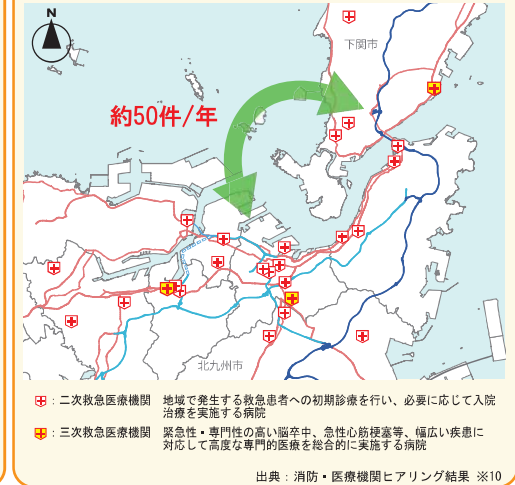
暮らし 海峡を越えて一体となった生活圏

わずか約 **2 km**の海峡を挟んで約**120万人**の都市圏を形成！
北九州市-下関市間の通勤・通学の往來が約 **1万人**！



医療 海峡を越えて連携する救急医療

北九州市⇄下関市間の救急搬送件数は年間約**50件**！
関門海峡を挟んで相互**連携**！



災害対応 海峡を越えた災害への対応

全国から被災地へ！熊本地震の際には、『関門橋』を通行して多くの支援車両が駆け付けました！

支援車両の通行状況



自衛隊の活動状況



自衛隊車両は約**7,000台**が通行
(※山口県調べ)



下関市・北九州市の中心部を結ぶ道路網の課題

迂回・渋滞・通行止めにより、交流人口の拡大や迅速かつ円滑な物流

に支障をきたしています。

老朽化する関門橋・関門トンネルで頻発する通行止め

■関門橋 (延長 1,068m)

- ・開 通：昭和48年11月 (45年経過)
- ・交通量：38,856台/日 (H30年度)



○関門橋の通行止め状況 (H26～H30年度)

日付	原因	備考
H30.10.06	台風	上下線 約3時間通行止め
H30.07.06	雨	上下線 約3時間通行止め
H30.02.11～12	積雪	上下線 約11時間通行止め
H29.02.11	積雪	上下線 約8時間通行止め
H28.08.06～07	火災	上り線 約4時間半通行止め 下り線 約2時間半通行止め
H28.01.24～25	積雪	上下線 約38時間半通行止め
H27.11.7	事故	上り線 約2時間通行止め
H27.10.11	事故	下り線 約2時間半通行止め
H27.08.25	台風	上下線 約14時間通行止め

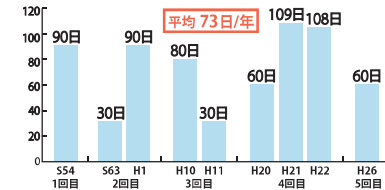
■関門トンネル (延長 3,461m)

- ・開 通：昭和33年3月 (61年経過)
- ・交通量：27,568台/日 (H30年度)



下関市と北九州市間の交通量は、約2万5千台にのぼり、そのうち、約7割の1万7千台が関門トンネルを利用していています。(H17道路交通センサス)

○関門トンネルのリフレッシュ工事による全面通行止めの状況 (年平均通行止め日数)



概ね10年ごとに行われています



○関門トンネルの事故・落下物等による通行止め回数

年度	通行止め回数
H26	226回
H27	289回
H28	235回
H29	207回
H30	198回
合計	1155回

・5年間の回数 1,155回
・通行止め頻度 2日に1回 以上

関門橋・関門トンネルの通行止めによる弊害！

自動車部品の輸送に
影響を及ぼします！



自動車部品輸送業者

1月の大雪で関門橋が通行止めになった際、関門トンネルへの迂回輸送を余儀なくされましたが、フルトレーラーの通行許可を取得していなかったため、貨物を別のトラックに積み替える作業が発生し、余分な時間や人件費がかかりました。

出典：輸送業者ヒアリング結果 ※3

食料品は鮮度が命！
輸送における時間的制約は大きい！



食料品輸送業者

関門橋の通行止めで、四国の物流センターの納品時間(22時)に間に合わなかったため、輸送した貨物を返品され、廃棄代や運送代が荷主(食品メーカー)の損失となりました。

また、返品となった貨物を持ち帰るため、帰りの便は予定していた貨物を輸送できず、多大な損失が生じました。

出典：輸送業者ヒアリング結果 ※3

搬送時間の増加は、ふぐの
商品価値を大幅に低下させます！



農水産関連企業

ふぐは泳いでいる状態で運んでいますが、運送時間が長くなるとストレスで噛み合い傷つくため、商品価値が下がります。

また、天然ふぐはセリに1日遅れることで半値以下となるため、通行止めでセリに参加できないと大きな損失になります。

出典：農水産関連企業ヒアリング結果 ※4

観光ツアーのルートに
影響を及ぼします！



観光関連企業

関門橋が通行止めとなった際は、ルートを変更しましたが、関門トンネルを通るのに4時間も要し、到着が大幅に遅れました。

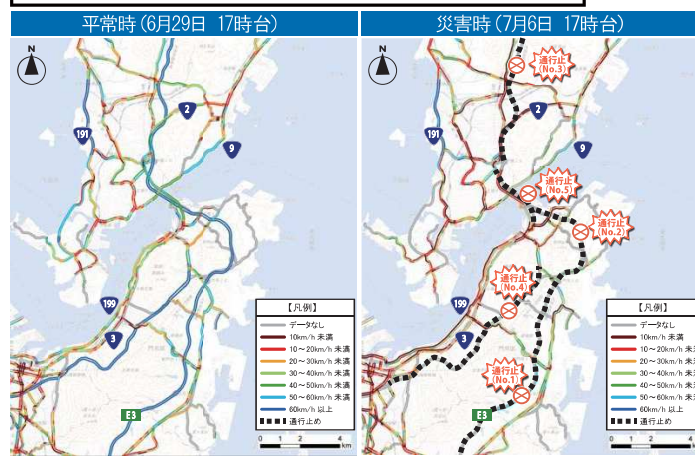
また、旅程も変更となり最終的には移動手段を電車で切り換えてツアーを続行しました。

出典：旅行者・観光関連団体ヒアリング結果 ※6

通行止めになれば、地域の道路交通がマヒします

○関門トンネルや高速道路が通行止めになると、国道2号・3号・199号など幹線道路が著しく渋滞します。このため、下関・北九州地域全体の物流や交通に支障をきたします。

関門トンネルや高速道路が通行止めとなった事例 (平成30年7月豪雨時)



渋滞による物流網の混乱のため、トヨタ自動車九州宮田工場で数日間に渡り生産への影響(5割程度の生産停止等)が発生しました。

出典：平成30年7月豪雨の影響調査ヒアリング結果 ※8



製造業

渋滞の影響による通学困難のため、門司学園中学校・高校で3日半を休ませざるを得ませんでした。

出典：平成30年7月豪雨の影響調査ヒアリング結果 ※8



教育

関門橋の通行止めを受けて、取り扱っているコンテナ輸送は、その日の輸送を断念しました。

出典：物流企業ヒアリング結果 ※7



運輸業

○関門自動車道(関門橋)上下線 7/6 7:35～10:20 通行止め

○平成30年7月豪雨時の通行止めの所要時間

No.	道路名(区間)	上下線	通行止めの時間
1	九州自動車道(門司IC～小倉東IC)	下り線 上り線	7/6 7:21～7/11 11:30 7/6 7:21～7/17 15:00
2	関門自動車道(門司港IC～門司IC)	上下線	7/6 7:35～7/7 16:00
3	中国自動車道(美祿西IC～下関IC)	上下線	7/6 8:05～7/7 11:02
4	北九州高速(尼立～春日)	上下線	7/6 8:57～7/10 17:00
5	国道2号(関門トンネル)	上下線	7/6 10:20～21:00

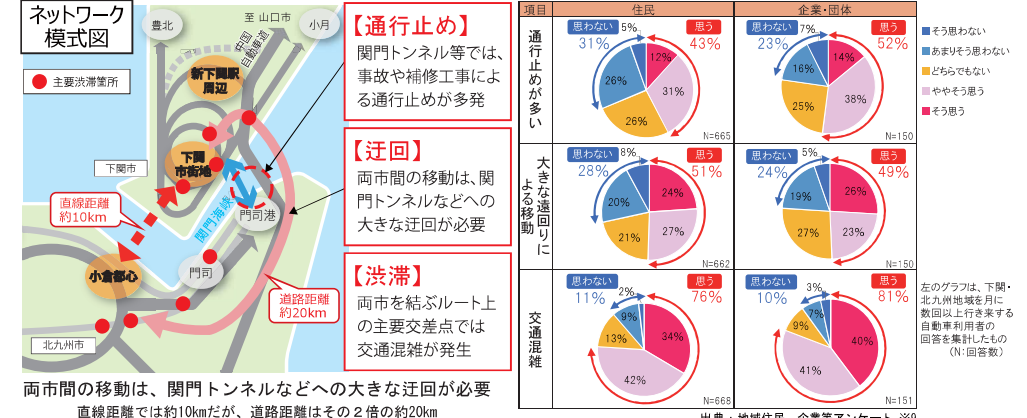
○平常時(H30.6.29)と関門トンネル通行止め時(H30.7.6)の所要時間



地域住民や企業も両市の移動には課題があると考えています

地域住民・企業等ともに両市を自動車で行き来する人の約8割が、「交通混雑」に課題があると回答。また、「通行止めが多い」、「大きな遠回りによる移動」についても課題と回答した人が多い。

▼下関市～北九州市間の移動における課題



産業・物流 海峡を越えた産業連携

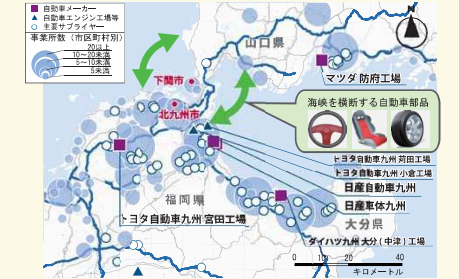
①イギリスやイタリアの生産台数を上回る自動車産業



②下関市と北九州市の間では、「下関ふく」や「合馬たけのこ」などの地域ブランドをはじめとした様々な農水産品が流通



海峡を越えた部品供給
海峡を横断する部品輸送の7割以上が自動車輸送！(部品重量の割合)



▲北部九州・山口の自動車メーカー及び関連企業の立地状況
自動車メーカー5社 関連企業は700社以上

観光 海峡を挟んで歴史・文化遺産などが多数存在

近年、関門港に寄港するクルーズ船が増加！
クルーズ船寄港時には、両市の観光地を巡るツアーを企画

◆「関門ノスタリジック」海峡！

日本遺産登録 (H29.4)

<関門海峡：下関市及び北九州市(42文化財)>

旧福岡県下関市歴史博物館

下関市立近代史人形館

田中絹代ぶな館

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

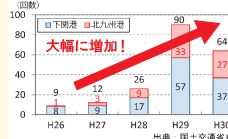
北九州市旧大森倉庫

三倉庫

北九州市旧大森倉庫

三倉庫

クルーズ船寄港実績推移



クルーズ船寄港時の主なバスルート

● 主な寄港地

● 主な立寄り地

● 凡例

● 出典：旅行業者・観光関連団体ヒアリング結果 ※6

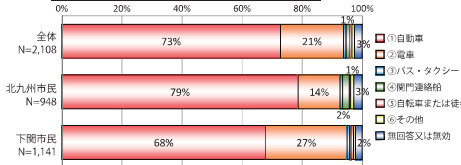
海峡を横断する際の移動手段は大多数が自動車

住民アンケート

(2つ以上選択されている場合は無効票)

○下関市～北九州市間の

主な移動手段の約7割は「自動車」です。

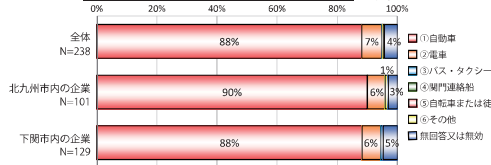


企業アンケート

(2つ以上選択されている場合は無効票)

○下関市～北九州市間の

主な移動手段の約9割は「自動車」です。



関門海峡を河川になぞらえると...

- 関門地域は、川幅が0.7～2.0キロメートル、延長が19キロメートルの河川により分断されているといえます。
- 左岸、右岸を結ぶ道路は、ほぼ同じ位置で渡河する「関門橋」と「関門トンネル」の2つのみです。

国内の河川と比較すると...

- 例えば、新潟市内の信濃川約23キロメートルの区間には21本の道路が、阿波市から徳島市の吉野川約22キロメートルの区間には18本の道路が整備されており、周辺地域の交流・連携を支えています。



※人口は各市HP、国勢調査による
※5市町とは 阿波市、吉野川市、上板町、石井町、藍住町

◆本資料に関するお問い合わせ

下関北九州道路整備促進期成同盟会

山口県土木建設部道路建設課 TEL.083-933-3714

福岡県国土整備部道路建設課 TEL.092-643-3660

北九州市建築都市局計画部都市交通政策課 TEL.093-582-2518

下関市都市整備部都市計画課 TEL.083-231-1932

下関北九州道路建設促進協議会

(一社)九州経済連合会 社会基盤部 TEL.092-761-4261

(一社)中国経済連合会 社会基盤担当 TEL.082-242-4511

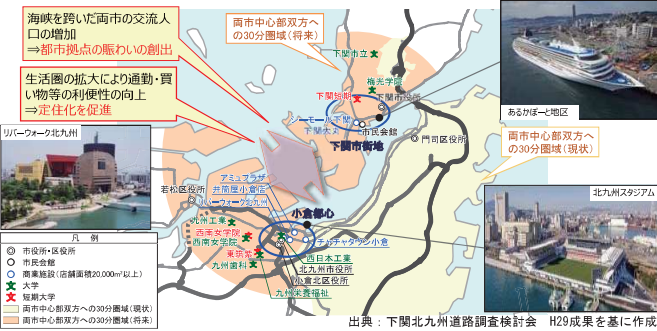
下関北九州道路の整備により期待される効果

更なる地域の発展に向けて、様々な役割が期待されています。

暮らし

海峡を越えて一体となった生活圏の結びつきの強化!

○両市中心部を近づけることで、交流人口の増加、生活圏の拡大を図ります。



歴史ある下関に住みたいと思っており、下関市と北九州市の通学時間が短縮されることは、自宅から通える大学の選択肢が増え、進路の幅がとても広がることに繋がります。

出典：H29.8整備促進大会意見提言



産業・物流

効率的な物流の実現による地域産業の活性化!

○多様な産業・物流の拠点の連絡性を高め、多重性を確保し、円滑で安定した物流を実現します。



下関北九州道路整備による時間短縮により運搬効率の向上が見込まれます。また、北九州まで雇用機会の創出が図られる可能性があります。

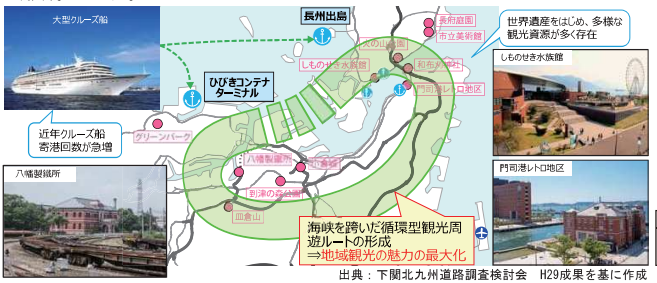
出典：下関北九州地域の企業へのヒアリング結果 ※5



観光

多様な観光資源を活かした観光振興!

○関門海峡のまわりに点在する観光資源を有機的に繋げ、海峡を跨いだ循環型周遊ルートを形成します。



移動時間の短縮による観光地としての滞在時間増加を最も効果として期待していますが、対象エリアの拡大、定時性の確保も期待しています。

出典：旅行者・観光関連団体ヒアリング結果 ※6



代替路

災害時における既存道路の代替機能の確保!

○災害時における「関門橋」や「関門トンネル」の代替路（バイパス）としての機能を有します。

地域による基礎的検討

概略ルート、構造形式、整備手法の3つの観点から基礎的検討を実施。

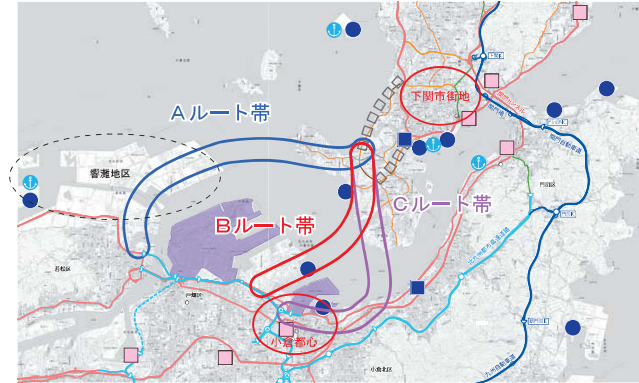
※下関北九州道路調査検討会 (H29、H30)

地域住民、企業、有識者等の意見を踏まえた検討成果

ルート

○両市を最短で結び、混雑緩和も期待できるBルート帯

(下関市彦彦迫町付近～北九州市小倉北区西港町付近) が最も望ましい



凡例	
■	大規模工場、大規模商業施設等
○	市役所
○	区役所
○	下関北九州道路のAルート帯
○	下関北九州道路のBルート帯
○	下関北九州道路のCルート帯
□	下関北九州道路の整備により道路の拡幅や交差点改良等の別途検討を要するが見込まれる主な箇所
●	物流施設(港湾)
●	物流施設(鉄道)
●	クルーズ船着岸地区
■	観光地

構造形式

○気象の影響を受ける可能性があるものの、橋梁案が比較的優位

○今後は、地質等の詳細な調査を実施するとともに、高度かつ広範な専門的知見をもって検討を深め、構造形式を検討することが必要

【橋梁案の特徴】

- ・走行の快適性や開放感が確保可能です。
- ・タンクローリー等の危険物積載車両が通行可能です。
- ・ランドマークとして観光振興に寄与します。
- ・地震時の断層変位による影響を受けにくく、短期間で機能回復を図ることが可能です。

整備手法

○PFI的手法の導入にあたっては、民間事業者との段階的・継続的な対話を進めるとともに、

民間と公共の適切なリスク分担が必要

○民間事業者が、参画の判断など具体的な検討を行うには、施設計画（ルート・構造形式等）や事業費等の情報の提示が必要

○周辺ネットワーク（関門橋・関門トンネル）との一体的な管理運営が効果的

〔出典となる地域によるアンケート・ヒアリングの概要〕

<p>※1 住民・企業アンケートの概要(H29)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象者及び調査方法：下関市及び北九州市の企業と、両市にお住まいの20歳以上の市民（無作為抽出）に対して、調査票を郵送にて配布・回収 回答率数と回答率：住民アンケート：1,357票（3,400票配布）39.9%、企業アンケート：186票（694票配布）26.8% 	<p>※6 旅行者・観光関連団体ヒアリングの概要(H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象者及び調査方法：下関市及び北九州市の旅行者15社、観光関連団体6団体に対して直接聞き取り
<p>※2 自動車メーカーヒアリング・関連企業アンケートの概要(H27)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象者及び調査方法：福岡県、山口県、大分県の自動車メーカー5社に対して直接聞き取り、同3県の関連企業77社に対して調査票を郵送にて配布・回収 回答率数と回答率：関連企業アンケート：183票（775票配布）23.6% 	<p>※7 物流企業ヒアリングの概要(H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象者及び調査方法：関門橋と関門トンネルを利用する頻度が高い企業19社に対して直接聞き取り
<p>※3 輸送業者ヒアリングの概要(H27)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象者及び調査方法：現地調査の結果、関門橋と関門トンネルを利用する頻度が高い企業11社に対して直接聞き取り 	<p>※8 平成30年7月豪雨の影響調査ヒアリングの概要(H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象者及び調査方法：北九州市商工会議所会員等に対して直接聞き取り
<p>※4 農水産関連企業ヒアリングの概要(H29)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象者及び調査方法：下関市及び北九州市の農水産関連企業22社に対して直接聞き取り 	<p>※9 地域住民、企業等アンケートの概要(H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象者及び調査方法：下関市及び北九州市にお住まいの18歳以上の住民（無作為抽出）と両市の企業等に対して、調査票を郵送にて配布・回収 回答率数と回答率：地域住民アンケート：2,108票（6,812票配布）30.9%、企業アンケート：238票（501票配布）47.5%
<p>※5 下関北九州地域の企業へのヒアリングの概要(H29)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象者及び調査方法：下関市及び北九州市の製造業、運輸業など15社に対して直接聞き取り 	<p>※10 消防・医療機関ヒアリングの概要(H31)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象者及び調査方法：下関市及び北九州市の消防局、医療機関に対して直接聞き取り

〔注〕調査実施年度